

# 6・11 第2回共同親権アクション

## ★ 当日スケジュール ★

### ■「家庭裁判所は拉致を許すな！」東京家庭裁判所前オープンマイク

11:00～11:40 @東京家裁前集合

### ■東京地裁前街頭宣伝

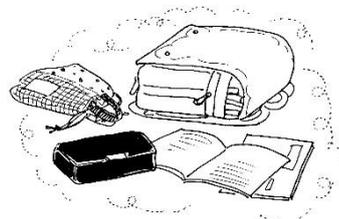
11:50～12:30 @東京地裁前

### <共同親権訴訟第一回口頭弁論>

13:15～ 東京地裁803号法廷 \*国からの反論が予定されています。

### ■院内集会「共同親権で何が変わる、何を変える」

15:00～17:30 @議員会館、追ってお知らせします



## 院内集会「共同親権で何が変わる、何を変える」

「子どもに会うための共同親権では本末転倒」「共同親権は子ども視点で見ると大問題だ」

本当でしょうか？

こういった発言は、「結婚して親になって一人前」「子どものことを言いたいなら離婚するな」という、婚姻制度が維持してきた特定の家族観と結びついています。

子どもに害を及ぼすのは外から家庭の秩序を乱す側。それを守るために単独親権が必要。我慢してでも家庭は維持しなきゃいけない……そんな風潮のもと、法は家庭に踏み込まず、DVや虐待は毎年過去最高を更新し続けています。自分に迷惑がかかっているわけでもないのに、加熱する不倫叩きもこういった価値観と無縁ではありません。

誰もが両親から愛されたいと願っています。それを大切にしようとする親の存在は子どもにとって「本末転倒」「大問題」でしょうか。コロナパニックのもと、離れて暮らす家族の関係も挑戦を受けています。共同親権はいったい私たちの何を変えるのでしょうか。

■日時 6月11日(木) 14:30開場 15:00開始～17:30

■場所 議員会館、追ってお知らせします

■内容 講演 サンドラ・ヘフェリンさん「共同親権で何が変わる、何を変える」



<プロフィール>作家、コラムニスト。ドイツ・ミュンヘン出身。日本歴22年。日本語とドイツ語の両方が母国語。自身が日独ハーフであることから、「ハーフとバイリンガル教育」「ハーフと日本のいじめ問題」など、「多文化共生」をテーマに執筆活動をしている。自身のHP「ハーフを考えよう！」(<http://half-sandra.com/>)のほか、朝日新聞 GLOBE+、読売新聞 OTEKOMACHI などのネットメディアで発信。記事に「考え直したい『家』制度～『家』から『個人』を尊重する社会へ」「欧州では叩かれない!? ニッポンの『不倫叩き』の根底にあるもの」「結婚している方が『偉い』!? 『独身』『結婚』それぞれの良さ」など。近著は「体育会系 日本を蝕む病」(光文社新書)

他、共同親権訴訟／コロナパニックでの親子関係についての報告

## 主催 共同親権運動・国家賠償請求訴訟を進める会

TEL 0265-39-2116 メール [kkokubai\\_contact@k-kokubai.jp](mailto:kkokubai_contact@k-kokubai.jp)

\*新型コロナウイルスの影響で、開催が中止や変更される場合があります。その際は、当会のホームページ及びSNS等でお知らせします。